スキットを作ろう

☆ねらい

　場面を自由に設定し、６文以上の会話文を作ることができる。

☆扱う場面

　・学年　３年

　・make A Bの構文を学習した後の自己表現活動

　・所要時間　３時間

☆指導の手順と留意事項

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |
| ① ヒントを参考に、自分の行動とその時の気持ちを表す英文を書く。（その１） | ・自分の気持ちを表現するmake A Bの使い方に慣れさせる。・どんな場面での表現になるのかも考えさせる。 |
| ② 例を参考に、自分の行動とその時の気持ちを表す１文とそれに関係する１文を書く。（その２） | ・疑問詞whatを使ったmake A Bの疑問文の用法を知らせる。・happyとangryに限定して、自分の立場の英文を２文作ることを知らせる。最初の１文は①で作った英文を使わせる。・対象の文だけでなく、その前後の文を考えさせ、話の流れを意識させる。 |
| ③ ペアで質問しあう。 | ・②で作った英文を使って会話をさせる。・happy, angry以外の形容詞を使った疑問文を使って互いに質問させる。①で作った英文１文で答えても良いし、②を参考にして２文で答えることにも挑戦させる。 |
| ④ 班で協力して、make A Bを使ったスキットをつくる。　　　　　　 | ・例を参考に班で、登場人物２人の気持ちや場面設定を考えさせる。・日本文を考えさせ、それを英文にさせる。その英文の中で登場人物の気持ちが表現できるように、make A Bの構文を使うよう促す。・教師がスキットの英文を添削する。【本誌Ｐ５３のワークシート参照】 |
| ⑤ 班ごとにスキットを発表する。 | ・発表の内容に対して感想などを言わせる。・発表を見るポイント、聞くポイントを確認させる。 |